

国見町あつかし歴史館特別展

文化庁
Agency for Cultural Affairs, Government of Japan

令和7年度文化庁文化芸術振興費補助金
(地域文化財総合活用推進事業)

大木戸6号墳出土の蕨手刀

国見町大木戸地区の古墳群から出土した「蕨手刀」は、芽を出したワラビの姿に柄の形状が似ている特徴をもつ8世紀後半の刀です。令和5年度に町で詳細調査を行い、令和6年度には刃物の館やすらぎ工房による復元製作プロジェクトが行われました。今回はその成果を展示いたします。



■会 期 8月10日(日)



9月28日(日)

開館時間 9:00~16:30

休館日 毎週月曜日(祝日の場合は翌平日)

■会 場 あつかし歴史館 第2研修室
福島県国見町大字大木戸字霞原3 ☎024-585-4520



【関連講演・解説】

- 日 時 8月23日(土)
13:30~15:30
- 会 場 大木戸ふれあいセンター
(国見町大木戸字新田原3)
- 講 師 吉田秀享氏
(古代製鉄研究所村下・
川俣町教育委員会)
藤安将平氏
(将平鍛刀場刀匠)
- 定 員 40名
※申込・参加費は不要

【問合せ先】 国見町歴史まちづくりフォーラム事務局 (企画調整課地域振興係内)
☎024-585-2967 FAX024-585-2181 (共通)

主催/国見町歴史まちづくりフォーラム・国見町
協力/山の向こうから鉄を打つ音が聞こえるプロジェクト
(刃物の館やすらぎ工房)

国見町文化財センター
あつかし歴史館